

(別紙 3)

静岡県における効果的な捕獲に係る新技術の地域実証計画/評価報告
(効果的捕獲促進事業)

1 対象指定管理鳥獣の種類、技術名、実証地域及び時期

指定管理鳥獣名	ニホンジカ
技術名	わな捕獲関知システムの導入による効率的な捕獲活動の実証
実証地域	静岡県御殿場市、小山町(捕獲困難地(箱根西麓・金時山地区))
実証時期	令和6年5月～令和6年11月
実施体制	委託先：NPO 法人おだわらいノシカネット
事業費	1,979,673 円

注：実証地域の位置が分かる地図を添付すること。

2 現状の指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲の目的・目標、実施状況、効果、課題等

ニホンジカの捕獲強化や捕獲地の奥地化に伴い、捕獲従事者のくくりわな設置後の「見回り作業」の負担が増加している。捕獲従事者の負担軽減のため、より効率的な「見回り作業」が求められている。

注：捕獲等事業によって目指す地域の状況や、軽減したい被害に関する目標、そのために必要な密度低減の考え方や捕獲数、捕獲の実施状況・効果・課題等を記載すること。

3 地域実証する技術の目的・目標・具体的な内容・効果等

＜事業の目的＞

- ・昨年度の実証試験により、現地で長距離無線システムによるわなの作動状況の電波受信が可能であることが判明した。一方で誤作動も確認されたことから、信頼性の高い「見回り作業」実現のために誤作動の抑制について実証試験を行った。

＜事業の内容＞

- ・(株)アイエスイーの長距離無線通信システム「ほかパト」を使用。5月から11月の期間で、くくりわな30基(「ほかパト」：親機1基、子機30基)を設置。
- ・通信状況及び労力の削減効果について、昨年度に引き続き検証した。
- ・メーカー推奨の子機取付け方法を基準に、子機の設置方法や部材の種類、部品の接続方法等を数種類ずつ変更して誤作動のない設置方法を検証した。

注1：2を踏まえて、地域実証する目的や必要性、実証の場所や日程、方法、内容、想定される効果等を具体的に記載すること。

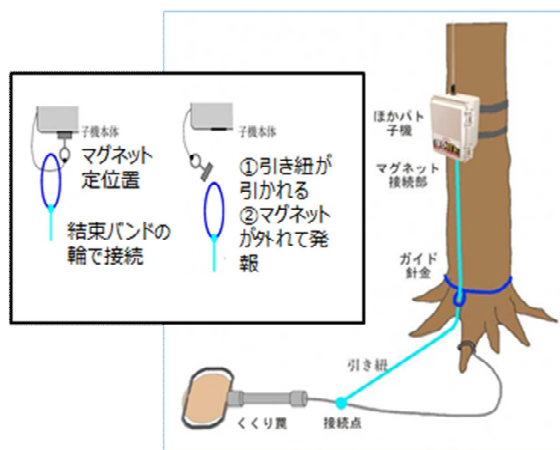
注2：実証する技術の写真や内容等の概要が分かる資料を添付すること。

注3：事業終了後の評価報告においては、注1～2について実施した内容・結果を具体的に記入すること。

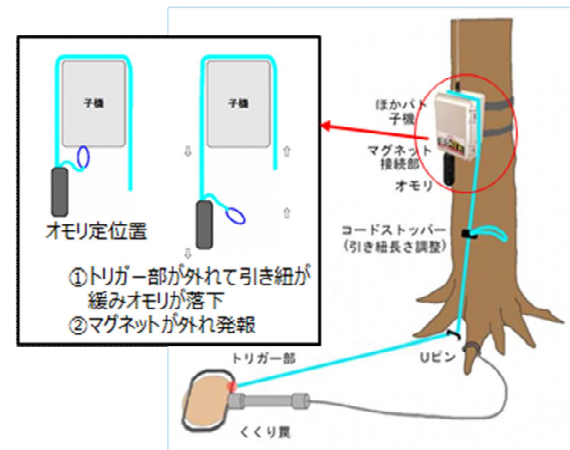
4 技術の効果の検証・評価方法/結果

＜事業の結果・効果＞

- ・親機・子機間の通信距離は、直線で約 12km、子機は山間部の入り組んだ谷間にも設置したが、いずれの子機も通信状況は良好で、通信が可能であった。
- ・遠隔監視により、見回り労力を 2 割以下に削減できることが判明。昨年に引き続き、長距離無線システムが見回りの省力化につながるということが明らかになった。
- ・トリガー部分を工夫することで、空はじきがあった場合の通報もできるよう改良できた。
- ・引き紐の反応する方向を変えることで、風雨や枝葉の落下等による誤作動を抑制できるよう改良できた。



メーカー推奨 通常の設置方法



改良版 オモリ引き落とし方式

注：3 を踏まえ、実施結果の確認方法や目的・目標に対する地域実証の効果を図るための指標（被害指標や密度指標等）やその収集方法、評価の方法等について記入すること（事業終了後の評価報告においては、その評価結果を具体的に記入すること。）。

5 技術の活用・普及方法、その他

＜事業の評価結果＞

- ・使用するわなや ICT 機器により違いはあるだろうが、今回使用したわな・ICT 機器の組み合わせでは、改良した設置方法により、空はじきが通報されない等の課題が解決できることがわかった。
- ・見回り作業軽減に向けた一つの方法として、今回改良した設置方法の普及啓発を図る。

注 1：地域実証する技術の活用・普及方法について記載するとともに、地域実証に当たって、特記すべき事項があれば記入すること。

注 2：事業終了後の評価報告において、特記事項に対するコメントがあれば記入すること。